

● 2025 年度 夏期 短期留学プログラム 募集要項：プログラム編 ② 【書類選考】

2025 年 4 月 1 日
立命館大学 国際教育センター
(立命館留学サポートデスク)

◆ 募集要項の確認

対象コース掲載の募集要項：プログラム編と同時に、「募集要項：申込要件」（別冊）の記載内容を十分確認・理解の上、プログラムへの申込をご検討ください。

※ 冊子印刷した要項を、各キャンパスで開催される「留学説明会」にて配布します。希望者は出席してください。

※ 募集要項の掲載内容に更新・修正があった場合は正誤表とともに最新版の募集要項をホームページに掲載します。申込を検討する際は、最新情報を確認してください。

◆ 募集要項：プログラム編② の目次・掲載留学プログラム

項番・項目名	ページ
1. 本要項（プログラム編②）掲載プログラム・コース概要	1
2. 掲載コース関連スケジュール	2
3. 申込方法と留意事項	3-4
4. 書類選考プログラム申込書類について	5-10
掲載コース別情報	
▶ Advanced Global Fieldwork Project 「ハノイ貿易大学」	11-12
▶ Advanced Global Fieldwork Project 「チェンマイ大学」	13-14
▶ 現地で学ぶ初修語セミナー 「国立台湾師範大学」	15-16
▶ 現地で学ぶ初修語セミナー 「モンテレイ 工科大学」	17-18
▶ 海外スタディ 「ペース大学」	19-20
▶ 立命館・マコーリー大学「日豪関係」	21-22
掲載コース共通情報	
● プログラム参加費用についての補足事項	23
● 奨学金について	23
● ホームステイに関する留意事項	24

◆ 本募集要項に関する問い合わせ先

※ 問い合わせ方法などの詳細は、「募集要項：申込要件」表紙に記載しています。

「立命館留学サポートデスク」（平日 9:00～17:00 ※土日祝 休み）
TEL: 077-561-4881

1. 本要項(プログラム編②)掲載プログラム・コース概要(内)

	プログラム・コース名	派遣国	募集定員	最少人数	滞在形態	ビザ
	派遣期間(日本発着)	都市	募集形式	形態	パスポート有効(日本籍)	
Global Fieldwork Project 研修言語						
1	マレーシア科学大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/14(日) 8日間	マレーシア ペナン	40名 抽選	10名 カスタム	ホテル 入国時+6ヵ月以上	不要
2	パンニヤサ大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/14(日) 8日間	カンボジア プノンペン	30名 抽選	10名 カスタム	ホテル 入国時+6ヵ月以上	要
異文化理解セミナー 研修言語						
3	アラバマ大学 (英語) 2025/08/17(日)～ 2025/09/14(日) 29日間	米国 アラバマ州 タスカルーザ	20名 抽選	10名 オープン	ホテル(又は寮) 出国日まで	要
4	クイーンズ大学 (英語) 2025/08/10(日)～ 2025/08/31(日) 22日間	カナダ キングストン	50名 抽選	10名 オープン	ホームステイ 出国日+1日以上	電子
5	ビクトリア大学 (英語) 2025/08/04(月)～ 2025/08/24(日) 21日間	カナダ ビクトリア	50名 抽選	10名 オープン	寮 出国時+1日以上	電子
6	ニー・アン・ポリテクニク (英語) 2025/08/24(日)～ 2025/09/07(日) 15日間	シンガポール シンガポール	25名 抽選	15名 カスタム	ホテル 入国時+6ヵ月以上	不要
その他短期プログラム① 研修言語						
7	立命館・昭和ボストン 「文化・社会調査」 (英語) 2025/08/04(月)～ 2025/09/01(月) 29日間	米国 ボストン	30名 抽選	10名 オープン	寮 出国日まで	電子
Advanced Global Fieldwork Project 研修言語						
8	ハノイ貿易大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/17(水) 11日間	ベトナム ハノイ	30名 選考	10名 カスタム	ホテル(HS有) 入国時+6ヵ月以上	不要
9	チェンマイ大学 (英語) 2025/09/06(土)～ 2025/09/17(水) 12日間	タイ チェンマイ	30名 選考	10名 カスタム	ホテル(HS有) 入国時+6ヵ月以上	不要
現地で学ぶ 初修語セミナー 研修言語						
10	国立台湾師範大学 (中国語) 2025/08/10(日)～ 2025/08/30(土) 21日間	台湾 台北	24名 選考	10名 オープン	ホテル 出国日まで	不要
11	モンテレイ工科大学 (スペイン語) 2025/08/17(日)～ 2025/09/16(火) 31日間	メキシコ グアダラハラ	16名 選考	10名 カスタム	ホームステイ 出国日まで	不要
海外スタディ 研修言語: (英語)						
12	ペース大学 「ニューヨークで学ぶ国際連合」 2025/08/10(日)～ 2025/08/24(日) 15日間	米国 ニューヨーク	24名 選考(語)	5名 オープン	ホームステイ 出国日まで	電子
その他短期プログラム② 研修言語						
13	立命館・マコーリー大学 「日豪関係」 (英語) 2025/08/16(土)～ 2025/09/21(日) 37日間	オーストラリア シドニー	30名 選考(語)	10名 ミックス	ホームステイ 出国日まで	電子
1セメスター留学プログラム 研修言語: (英語)						
14	立命館・ヨーク大学 「イギリスで学ぶクリエイティビティ」 2025/09/22(月)～ 2026/02/05(木) 137日間	イギリス ヨーク	40名 選考(語)	15名 カスタム	ホームステイ 出国日まで	電子
15	立命館・UCデービス校 「アメリカの言語・文化・社会」 2025/09/25(木)～ 2026/03/22(日) 179日間	米国 CA州 デービス	30名 選考(語)	10名 オープン	ホームステイ 出国日まで	要

※ 掲載情報は、募集要項発行時点のものです。今後変更される可能性があります。

2. 掲載コース関連スケジュール

日時	項目
4/25(金) 10:00 ~5/7(水) 17:00	- 留学プログラム 申込期間 (オンライン申込) ※ GW 期間中の週末・祝日は事務局と連絡が取れません。 申込時トラブルが発生した場合に対応できない為、早めの申込をお勧めします。
5/15(木) 17:00	- 合格発表 (申込金の納入案内 配信) ※ manaba+R の「個人宛のお知らせ」で発表されます。必ず確認してください。 ※ 書類選考のプログラムは、担当教員の選考によって合否が決定します。
5/19(月) 15:00 締切	- 申込金納入期限 (必ず期日を守って申込金を納入してください。) ※ 本要項掲載プログラムの申込金は、 ● Advanced Global Fieldwork Project: 50,000円 ● その他の短期留学プログラム・各コース: 100,000 円
5/31(土) 9:00~15:00 (予定) < 対面 OIC >	【共通】 合格者ガイダンス (合格者の参加手続きについての案内) 【コース別】 コース別の諸手続きについての案内・参加者交流会 (各コース) ※ 時間・場所等の詳細は合格発表時に案内があります。
6/4(水) 18:30~19:40 < Zoom Live 参加 >	- 保健センターガイダンス (事前に、指定された動画の視聴が必要です) ※ 海外渡航の健康に関する留意点・事前準備 など
6/10(火) 15:00 締切	- 学内提出書類提出 (指定フォームから提出) - 取扱い旅行社のシステムによるパスポートデータ登録 (一部コース) - 海外旅行保険の手続 (入金)
6/29(日) 午後 < 対面 OIC >	※ Advanced Global Fieldwork Project 「ハノイ貿易大学」「チェンマイ大学」のみ対象 - 事前講義
7/9(水) 18:30~19:10 < Zoom Live 参加 >	- 危機管理ガイダンス (事前に、指定された動画の視聴が必要です) ※ 海外渡航に際しての危機管理留意点・事前準備 など
※ 日程は後日発表	※ 海外スタディ「ペース大学」のみ対象 - 事前講義
7/12(土) 終日 < 対面 OIC >	- 渡航前ガイダンス (プログラム費用の案内、旅のしおり・保険証券等手交) ※ 出発当日の集合・利用航空便・持参荷物・現地事情などに関する案内
7/18(金) 15:00 締切	- プログラム費用納入期限 ※ 最終金額等 詳細は、渡航前ガイダンスにて案内
8/10(日)~ 各コース随時 出発	- コースごと、現地研修実施 ※ 現地研修終了後、参加報告書・留学写真の提出が必要です
9/24(水) 午後 < 対面 OIC >	※ Advanced Global Fieldwork Project 「ハノイ貿易大学」「チェンマイ大学」のみ対象 - 事後講義
現地研修終了後 ※ 日程は後日発表	※ 海外スタディ「ペース大学」のみ対象 - 事前講義

※ 各種手続き詳細は、ガイダンスや manaba+R にてお知らせします。上記の予定は変更になる場合があります。

● お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

3. 申込方法と留意事項 1/2

3-1 募集形式

申込書類による選考にて決定

3-2 申込期間

2025 年 4 月 25 日(金) 10:00 ~ 5 月 7 日(水) 17:00 締切 厳守

※ 申込人数が予測に満たないプログラムのみ、2 次募集を実施することがあります。

2 次募集申込期間(予定): 2025 年 5 月 16 日(金) 10:00 ~ 5 月 20 日(火) 17:00 締切

3-3 併願申込

プログラム編 ②掲載コース間でのみ、第3志望まで併願申込が可能です。

※ 併願の場合、第 1、第 2、第 3 志望それぞれで「申込レポート」の作成、提出が必要になります。

1 度の申込で併願も選択します。志望プログラム(コース) 選択を間違わないように十分注意してください。

※ 第 2~3 志望も含めて、合格者発表後の辞退は出来ません。事前に費用負担者と十分協議してください。

3-4 申込資格

申込要件「C. 申込資格の確認」で申込資格を確認してください。

※ 各プログラムは、所属学部・回生により申込できない場合があります。

※ 過年度に参加された同一コース(協定校)への再応募は認めません。

(例) プログラム名が同じの場合も以下の様に、コースが異なれば申込できます。

パターン①【申込可】2024 年度「(初修語)高麗大学」に参加済 → 今回「(初修語)台湾師範大学」に申込

パターン②【申込可】(GFP ≠ AGFP) 2023 年度 GFP「ハノイ貿易大学」→ 今回 AGFP「ハノイ貿易大学」

3-5 申込時の Web 環境

申込にあたっては、パソコンの利用を推奨します。

※ mac の場合は、ブラウザを Safari ではなく、Chrome を利用してください。

CAMPUS WEB の推奨環境以外での端末や OS やブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーが発生する場合があります。推奨環境は URL・QR コードから確認してください。

【推奨環境 URL】 <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=365458>

【推奨環境 QR】



3-6 申込の際の留意事項

- 募集要項: 申込要件の「A. 申込要件の確認」記載内容を十分に確認したうえで申し込みをしてください。
- 第 2~3 志望も含めて、合格候補者発表後の辞退は出来ません。事前に費用負担者と十分協議してください。
- ※ 合格発表後、すぐに申込金の納入が必要になります。
- 募集要項: 申込要件掲載の、「O. 留学プログラム参加に関する承諾事項」の記載事項を確認してください。
- ※ 渡航後の規律事項はもちろん、決められたガイダンス等に参加し、手続きを遅延なく行うこと、事務局からの連絡に速やかに対応することを参加条件としています。
- 外国籍学生は、自身の国籍、渡航国によって査証取得に時間がかかる場合があり、プログラム合格後でも査証所得が発給に間に合わず、直前に参加取消となった場合は、高額の取消料を負担しなければなりません。申込を検討する際は、自身で情報を収集し、リスクを確認した上で判断してください。
- 有効なパスポートを持っていない方は、募集要項: 申込要件の「J-1 パスポートについて」を確認してください。
- ※ 合格前にパスポートの取得方法確認や戸籍謄本取得の準備を進めておいてください。

3. 本要項(プログラム編 ②) 申込方法と留意事項 2/2

3-7 申込書類の準備

**本要項に掲載のプログラムに申込の際は、選考の為の申込書類が必要です。
事前に作成し、「指定のファイル名」でパソコンに保存してからお申込ください。**

- P.5 以降に記載している、申込書類一覧を確認し、不備の無い様に準備してください。
不備があった場合、指示された形式で提出されなかった場合は、原則、選考の対象となりません。

3-8 申込方法

本要項に掲載しているプログラムへは、以下のフォームから申込してください。

- 以下の URL からアクセスして必要事項を入力、内容、提出ファイルに間違いが無い最終確認した後、送信ボタン上段の「☐ 自分の回答についての確認メールを受け取る」にチェックしてから送信してください。
 - 完了の画面表示、及び 回答確認メールで申込完了を確認してください。
- ※ 完了画面で「回答を保存する」をクリックすると自身のアカウント Forms で回答が保存されます。
自身の回答内容を後から編集することは出来ません。(回答内容は確認メールからも確認出来ます。)

【オンライン申込フォーム URL】

<https://forms.office.com/r/eEBBwtYxBx>

※ 申込フォームは、学内アカウントを利用してアクセスする必要があります。

- 申込フォームは、申込期間の開始時間～締切時間のみアクセスいただけます。
- ネットワーク環境の不具合や申込書類の不備等如何なる理由であっても、
申込期間終了後の申込受付はいたしません。
- 受付最終日はアクセス集中で繋がりにくくなる可能性があります。余裕をもって申込ください。
- 申込は1回限りで、取り消し・修正は出来ません。申込時、不備が無いに十分確認してください。

3-9 合格発表の確認方法

発表日、指定時間になったら、各自で manaba+R 「個人宛のお知らせ」に配信されたお知らせ(※)から、自身の合否を確認してください。

※ 件名:【抽選結果発表】または【合格発表】 2025 年度夏期短期・1 セメスター留学プログラム

The screenshot shows the 'manaba+R' interface. At the top, there are tabs: 'マイページ', 'コース', 'お知らせ' (circled in red), and 'ポートフォリオ'. Below the 'お知らせ' tab, there's a section titled '緊急連絡' (Emergency Contact) with a notice from 2017-10-23 about a lecture cancellation. Below that is the '個人宛のお知らせ' (Notice to Individual) section, which is also circled in red. It shows a notice from 2017-11-14 about a lost item. At the bottom, there's a section titled 'その他大学からのお知らせ' (Other notices from other universities) with various filters and a list of notices.

4. 書類選考プログラム申込書類について

プログラムの申込には、以下一覧に記載されている書類を提出してください。

※ 提出書類の不備が多発しています。申込書類が不足している等不備がある場合、選考の対象外となるため、必ず記載参照ページの詳細を確認して書類を準備してください。

【書類選考プログラム申込書類一覧】

A. 申込レポート

P. 6 「4-1. A 申込レポート 作成に関する留意事項」を参照

複数のコースを併願する場合は、申込レポートは志望コースすべてに提出が必要です。

以下のファイル名をつけて、申込フォームの提出先(コース別)にアップロードしてください。

- ファイル名:「A(志望順位)_(学生証番号11桁)」

【例 学生証番号が12345678910で、第2志望の場合のファイル名】 → A2_12345678910

- レポート内容:以下の設問1~3を記載してください。

▶ 設問1.「なぜこのプログラムに参加しようと思いましたか?」【日本語で作成】

▶ 設問2.「なぜこのプログラムに参加しようと思いましたか?」【参加コースの研修言語で作成*】

* 研修言語が英語以外のコースは、「設問2.」に関して1回生、未修者等、一部の学生は回答不要。

▶ 設問3.「留学までの学習計画や、帰国後、経験をどう生かしていくか」【日本語で作成】

B. C. D. 学内成績(GPA)に関する証明書類

※1 回生は、「夏出発」の短期・1 セメスターの申込時提出不要

P. 7-8 「4-2. B. C. D. 学内成績(GPA)に関する証明書類 留意事項」を参照

manaba+R → 「CAMPUS WEB」へアクセスして以下3種類の画面を印刷(PDF変換)し、それぞれ以下のファイル名をつけて申込フォームの提出先(3か所別々)にアップロードしてください

- ファイル名:

① 「B. 履修状況一覧」: 「B_(学生証番号11桁)」

② 「C. 科目一覧」 : 「C_(学生証番号11桁)」

③ 「D. GPA 一覧」 : 「D_(学生証番号11桁)」

「申込フォーム」内へ
左記3種類 別々に、
提出していただきます。

E. 語学力を証明する書類 ※ 語学要件の無いコースは任意提出

P. 9 「4-3. E 語学力を証明する書類 留意事項」を参照

各コース情報「要件」欄に「語学要件」が指定されている場合は、記載レベル以上の語学要件が必要になり、語学レベルを証明する書類の提出が必要になります。

語学要件の無いコース、又は申込の目安として語学レベルを記載しているコースへ申込の場合は、研修言語の語学力を証明する書類の提出は「任意」となり、必ずしも提出いただく必要はありません。

語学力を証明する書類を提出する場合は、指定のファイル名を設定し、PDF形式にて提出してください。

- ファイル名:「E_(学生証番号11桁)」

※ 今回の募集要項:プログラム編 ②に掲載のプログラムで、「語学要件」が指定されているコースは、

▶ 海外スタディ ペース大学 ▶ 立命館・マコーリー大学「日豪関係」です。

● 2025 年度 夏期 短期留学 募集要項:プログラム編 ②

4-1. A 申込レポート 作成に関する留意事項(併願の場合はすべての申込コースで作成が必要です)

- 募集要項:プログラム編データ掲載場所にある、以下のサンプルフォーム(Word)をダウンロードして使用するか、自身で同様の様式にて、レポートを作成してください。(A4 サイズ × 2枚に収まるように)
- ※ 設問2(研修言語で記入)に関しては、設問1の直訳で無くても構いません。また「英語以外の研修言語」に限り、「1回生」「研修言語未履修者」「政策科学部2回生の研修言語履修者」は回答不要です。
- レポートに、「1回生/未履修/政策科学部2回生 (いずれか)のため回答不要」と記入してください。

202●年度 春出発 書類選考 申込レポート

所属学部: スポーツ健康科学部

コース(大学): AGFP ハノイ貿易大学

氏 名: 立命 花子

設問 1. なぜこのプログラム・コースに参加しようと思いましたか?【日本語】

レポート様式 例

設問 2. なぜこのプログラム・コースに参加しようと思いましたか?【研修言語】

設問 3. 留学までの学習計画や、帰国後、経験をどう生かしていくか【日本語】

1

● 2025 年度 夏期 短期留学 募集要項:プログラム編 ②

4-2. B. C. D. 学内成績 (GPA) に関する証明書類 留意事項

manaba+R→「CAMPUS WEB」へアクセスし、以下を参照して 3 種の画面を印刷 (PDF 変換) して提出してください。

※ スクリーンショットではなく、必ず以下指示に沿って画面を印刷 (PDF 変換) してください。

【 CAMPUS WEB 画面の印刷方法 】

- ・ 対応ブラウザについては、manaba+R トップページ の、「利用情報」から確認してください。
- ・ ショートカットキー Windows: 「Ctrl」+「P」/ Mac の場合: 「Command」+「P」で印刷してください。
- ※ そのまま PDF 変換するときは、印刷時に PDF 変換ソフトを選択。

まずは CAMPUS WEB より履修状況確認 (受講登録内容・成績一覧) を選択



① 申込書類 「B. 履修状況一覧」の画面を印刷 (PDF 変換) してください。

必ず、**閉じる** のマークまで印刷。

(2枚目が **閉じる** マークのみ
の場合も2枚印刷してください。)

この画面では履修状況の確認ができます。
科目一覧、受講登録エラー・注意事項、GPAの確認はそれぞれのボタンから操作して
(注意) 登録単位数のかつこ内は、抽選科目のうち申請中の単位数を表示しています

②科目一覧
はここをクリック

③GPA
はここをクリック

科目区分	必要	修得	登録
【合計 (卒業要件に含まれる単位)】	124	84	
■基礎・教養科目 合計	24	25	
■外国語科目 合計	14	14	
<第一外国語 (朝鮮語)>	8	8	
<第二外国語 (中国語)>	6	6	
■専門科目 合計	70	36	
<4回生演習>	4		
<卒業論文>	4		
<現代東アジア言語・文化読解演習>	4		

他の2つの申込書類

②C: 「科目一覧」

③D: 「GPA 一覧」

この画面から選択できます。

● お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」 (BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

● 2025 年度 夏期 短期留学 募集要項:プログラム編 ②

② 申込書類「C. 科目一覧」の画面を印刷 (PDF 変換) してください。

必ず、**閉じる** のマークまで印刷。(2枚目が **閉じる** マークのみ
の場合も2枚印刷してください。)

RITSUMEIKAN CAMPUS WEB

Account :
Name :

科目一覧 メインカリキュラム (主課程)

学生情報

学生証番号	:	氏名	:
回生	:	現セメスター	:
所属	:	外国語選択種別	:
外国語 (第一)	:	外国語 (第二)	:
卒業必要単位	:	課程	:

履修状況は以下のとおりです。
(注意)
・成績評価、修得年度が空欄のものは、受講登録中 (抽選科目の場合は申請中も含みます) の科目です。
・抽選科目の単位数は、申請中は、かつこ付きで表示されます。抽選処理後に受講が許可された場合は、かつこが表示されなくなります。なお、受講が不許可となった場合は、当該科目自体が表示されません。

再読み込み

(全 44 件)

区分	科目名称	クラス	担当者	単位数	成績評価	修得年度	授業公開期間
基礎科目	リテラシー入門 I	D1	池田 智幸	2	B	2015	春セメスター
基礎科目	リテラシー入門 II	D1	池田 智幸	2	C	2015	秋セメスター
基礎科目	情報処理入門	LC	鳥木 圭太	2	B	2016	秋セメスター
教養科目	心理学入門	LA	藤 健一	2	C	2015	春セメスター
教養科目	イスラーム世界の多様性	L	末近 浩太	2	A	2015	春セメスター

③ 申込書類「D. GPA 一覧」の画面を印刷 (PDF 変換) してください。

必ず、**閉じる** のマークまで印刷。(2枚目が **閉じる** マークのみ
の場合も2枚印刷してください。)

RITSUMEIKAN CAMPUS WEB

Account :
Name :

GPA一覧

学生情報

学生証番号	:	氏名	:
回生	:	現セメスター	:
所属	:	外国語選択種別	:
外国語 (第一)	:	外国語 (第二)	:
卒業必要単位	:	課程	:

過年度も含めたGPAの値は以下のとおりです。

【GPA算出方法: α/β 】
 $\alpha: 5 \times [A+] \text{ 修得単位数} + 4 \times [A] \text{ 修得単位数} + 3 \times [B] \text{ 修得単位数} + 2 \times [C] \text{ 修得単位数}$
 $\beta: A+, A, B, C, F \text{ 評価の合計単位数}$
 ※自由科目 (卒業要件に算入しない科目) はGPA計算の対象になりません。

年度	学期	学期GPA	累積GPA	算出日
2015	春学期	3.11	3.11	2018/01/10
2015	秋学期	3.75	3.47	2018/01/10
2016	春学期	3.68	3.53	2018/01/10
2016	秋学期	3.67	3.57	2018/01/10
2017	春学期	0.00	3.57	2018/01/10

閉じる

(c) Ritsumeikan Trust. All rights reserved.

4-3. E 語学力を証明する書類 留意事項

語学要件の有無	書類の提出
▶ 語学要件あり	語学要件を満たす語学レベルを証明する書類の提出が「 必須 」 ※学内団体受験したスコアも証明書の提出が必要です
▶ 語学要件無し ※ 目安として語学レベルを記載しているコースを含む	語学レベルを証明する書類の提出は「 任意 」 ※ 書類が無くても申込は可能です。

※ 「語学要件」の有無は各コース情報ページの「要件」欄にて確認してください。

語学力を証明する書類を提出する場合（任意提出含む）、自身で受験した語学の資格証明書や、スコアシートなどのコピーを提出していただきます。

提出される書類が申込者本人のものであること、及び発行日（又は受験日）がわかるものを提出してください。
また、語学力を証明する書類を提出する場合、申込フォームにて語学スコアの入力が必要です。

【留意点】

- 申込コースの研修言語以外の語学スコアは、選考時の参考にはしませんので、提出は不要です。
- 語学スコアが複数ある場合、語学要件を満たしていることを証明するスコア、1種類を選択して提出してください。
- 証明書は全体（氏名、スコア、受験日等）が明確に判明できるものを提出してください。
記載されている文字が読み取れない場合など、提出書類として不備になる可能性があります。
- 期限がある証明書の場合は、「期限内」のものを提出してください。
- CASEC 又は VELC のスコアを提出する場合、TOEIC®テスト予測スコアが必要となりますので、TOEIC®テスト予測スコアが記載されている証明書類を提出してください。
- インターネット上で公開されるスコアを印刷したものの提出も認めます。
※ TOEFL iBT®テストは、Test Date スコアのみを採用します。（My Best TM スコアは採用しません）
- オンラインで受験された以下のスコアについても提出を認めます。

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ・ TOEFL iBT Special Home Edition | ・ IELTS Indicator |
| ・ TOEIC® L&R IP テスト（オンライン） | ・ TOEFL-ITP®テスト（デジタル版） |
| ・ CASEC（オンライン） | |

※ 試験種別が上記と同一のものであれば、「新入生の英語クラス分けテスト」「学内英語団体受験」で取得したスコアも応募の際に使用できます。

スコアを紛失した場合は、言語教育センターにスコア再発行の申請をしてください。

なお、言語教育センターからのスコア結果の manaba+R 通知を PDF 化したものでも提出可とします。

4-4. 書類の提出に関する留意点

◆ PDF (Portable Document Format) とは

PDF とは、印刷ページと同じ状態をデータで保存するファイル形式で、使用環境にかかわらず、誰もが同じ状態で確認できる、いわば「印刷文化を継承する電子的な紙」といえます。万一、自身の PC に専用ソフトがインストールされていない場合は、Adobe 社の無料ソフト「Adobe Reader」をダウンロードして使用してください。

・ Adobe 社ダウンロードサイト: <https://get.adobe.com/jp/reader/>

※ ホームページ掲載の募集要項データが閲覧出来ている場合は、PC に専用ソフトがインストールされています。

● 画面表示されている Web ページなどを印刷 (PDF に変換) する方法

「B. C. D. 学内成績 (GPA) に関する証明書類」をそれぞれ PDF に変換して提出する方法に関する詳細は、本募集要項:プログラム編 P. 7~8 を参照して操作してください。

- ・ 印刷したい Web ページを表示して、パソコンの OS が Windows の場合は「Ctrl」+「P」、Mac の場合は「Command」+「P」で印刷プレビュー画面になります。
「プリンター」、又は「送信先」の設定を「Adobe PDF」にして、PC 内の指定個所へ保存します。
- ※ 上記は、PC 画面の「スクリーンショット」とは操作が異なります。スクリーンショット (PrtScn など) は、画面表示そのものを画像保存する為、画面に表示されていないページは印刷できません。

● 紙の書類を PDF に変換する方法

「E. 語学力を証明する書類」など、紙の証明書を PDF にする方法は、以下を参考にしてください。

- ※ 紙媒体を PDF 形式のデータとして保存するためには基本的に、「スキャナー」を利用する必要があります。
- ※ スキャナーとは紙に描かれた文字や絵、写真などを読み取り、画像データとして取り込む装置です。
- ※ スキャンした PDF でも、斜めになったもの、記載データに見切れがあるものや不鮮明なものは不可となります。

① 各キャンパスに設置されているスキャナーを利用してデータ保存

スキャナーの利用について: <https://it.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja/articles/4402972352921>

以下に設置されたスキャナーを利用して、指定の保存先に PDF 形式に変換したデータを取り込めます。
使い方の詳細は、各スキャナー設置個所においてある、操作マニュアルで確認してください。

- ・ 衣笠キャンパス: 立命館大学図書館・ぴあら
- ・ びわこ・くさつキャンパス: マルチメディアルーム (MMR) (メディアセンター・プリズムハウス)
- ・ 大阪いばらきキャンパス: ICT-Lab.PC スペース

② コンビニエンスストアのコピー複合機 (マルチコピー機) を利用してデータ保存

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートなどに設置のマルチコピー機で PDF 変換が可能です。
使用法は各社それぞれ違いますが、基本は事前に PDF 変換する書類と USB メモリーを準備して、スキャンしたデータを USB メモリーに保存します。(料金は 1 枚 30 円程度)
※ 一部コンビニの機器では、専用アプリをダウンロードして、直接スマートフォンに保存出来ます。

短期

Advanced Global Fieldwork Project

ハノイ貿易大学

ベトナム

ハノイ



● 参加費用負担額 目安

12~18 万円

約11万4千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年9月7日(日)~9月17日(水)/11日間

おすすめPOINT

- 01 調査テーマや活動は個人で設定できる!
- 02 ホームステイで現地の生活が体験できる!
- 03 世界遺産の絶景「ニンビン」に行ける!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・Global Fieldwork Project の発展型「Project Based Learning」型の留学プログラムで、「世界を舞台にSDGsに取り組もう」のテーマを掲げ、海外を舞台に、関連する特定の課題にもとづくプロジェクトを現地で展開。教職員による現地引率や現地学生バディによる学習サポートがあります。
- ・過年度の GFP 参加者/未経験者どちらも参加可能です。SDGsへの関心や、フィールドワークを通じて課題を発見、解決策を探索する学びに興味がある学生におすすめのプログラムです。
- ・1960年にベトナム政府外務省の外交・貿易職員養成目的の大学として、首都ハノイに設立された大学です。
- ・同大学内には、本学の海外オフィスを開設しています。(2018年度~)
- ・ベトナムの政治と文化の中心である首都ハノイは、1000年に及ぶ長い歴史を持つ都市である一方、近年工業都市としても発展しています。

形態	カスタム型(本学単独のプログラム ※協定校の学生バディが協力)
人数	募集:10~30名【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホテル泊(2~3名/1室基準)※ホームステイ体験(1泊)有
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし(但し出発時、目安スコア以上の参加者を想定) 【目安スコア】TOEFL ITP®:450点・TOEIC®L&R/IP:500点 ※ 学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:不要(出発直前にオンライン入国カードの登録が必要)
その他	本プログラムは担当教員が同行し、学習のサポートを行います。 国内にて参加必須の事前・事後講義があります。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:関西空港発 → 【直行便】 → ハノイ着(昼頃)
研修期間	プログラム概要 ・事前事後講義も含め、講義・説明はすべて英語で実施 ・GFPとは異なり、個人での調査・研究がメイン(調査の計画・準備・実行・データ整理と分析・報告等) ※ 現地学生バディのサポートあり ・現地の世界遺産またはSDGsのテーマに関連した地域等を訪問 ・現地の生活様式を知る為、一般家庭にホームステイ体験 ・最終日ポスターセッションや帰国後の事後講義にて調査を発表
現地出発	航空便が深夜出発の為、夕刻~夜に空港へ移動、それまでは、フリータイムになります。(発時間が日をまたぐ為翌日発)
帰国	深夜:ハノイ発 → 【直行便】 → 関西空港着(朝)

◆ 主な視察スポット: ・ベトナム民族学博物館 ・ハノイ大教会 ・ホーチミン廟
・タンロン遺跡 ・ハノイ歌劇場 ・タンロン水上人形劇 ・ハノイ旧市街 など

◆ 食文化の特徴:ベトナム料理は、歴史的に中国やフランスの食文化の影響を受けています。米を主食とし、肉や魚とともに、野菜とハーブがたっぷり入ってヘルシーなことが特徴です。

◆ Advanced Global Fieldwork Project (AGFP) 「ハノイ 貿易大学」 2/2

● 引率

庄子 萌(国際教育推進機構)

※ 本コースは、担当教員が同行して、学習のサポートを行います。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】 ベトナム航空(VN)

【乗継地】 直行便

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態
食事条件

ホテル(2~3名/1室基準) / プログラム中、ホームステイ体験1泊

【食事】ホテルの朝食付き、ホームステイ中は食事付、他、懇親会等で一部食事が提供されることがあります。

● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 校友会特別奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ 本プログラムのみ、海外留学チャレンジ奨学金(本来5万円)に代わり、特別に校友会から支給される奨学金です。

校友会特別奨学金支給額

10万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額 (2次納付金案内時に詳細を提示します)

約1万4千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の2次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 本コースのフィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は参加費用に含まれません。

また、個人で計画したフィールドワークにバディが同行する場合、バディの交通費・入場料・飲食費は負担してください。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上可否決定されます。

申込にあたっての語学要件はありませんが、事前事後研修、渡航先での講義・説明などすべて英語で実施しますので、以下記載の目安語学スコア以上レベルの参加を想定しています。

申込時、レベルに達していない方は、出発までにレベル以上の英語力をつけるように努めてください。

【参加目安スコア】 TOEFL ITP®:450点・TOEIC®L&R/IP:500点

もし既にお持ちの語学カスコアがあれば、参考までに提出してください。(語学カスコアは任意提出)

・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、対面の事前・事後講義を実施します。

参加必須の為、コース申込の際は、自身のスケジュールを調整して必ず出席してください。

【事前講義】 2025年6月29日(日) 午後 <OICにて実施>

【事後講義】 2025年9月24日(水) 午後 <OICにて実施>

※ 上記予定は変更となる場合があります。時間・教室等の詳細は決定後、manaba+Rでお知らせします。

短期

Advanced Global Fieldwork Project

チェンマイ大学

タイ
チェンマイ

● 参加費用負担額 目安

13~19 万円

約11万7千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年9月6日(土)~9月17日(水)/12日間

おすすめPOINT

- 01 調査テーマや活動は個人で設定できる!
- 02 ホームステイで現地の生活が体験できる!
- 03 プレゼンテーションスキルを向上させる!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・Global Fieldwork Project の発展型「Project Based Learning」型の留学プログラムで、「世界を舞台にSDGsに取り組もう」のテーマを掲げ、海外を舞台に、関連する特定の課題にもとづくプロジェクトを現地で展開。教職員による現地引率や現地学生バディによる学習サポートがあります。
- ・過年度の GFP 参加者/未経験者どちらも参加可能です。SDGsに関心がある方や、フィールドワークを通じて課題を発見、解決策を探究する学びに興味がある方におすすめのプログラムです。
- ・1964年にタイ初の地方大学として創設された総合大学で、高原地帯の豊かな自然に囲まれており、日本の大学と積極的な交流関係を結んでいます。
- ・「北方のバラ」と称されるタイ第2の都市チェンマイは、歴史的建造物が多く残る美しい古都で、寺院建築、料理や工芸の分野で「ランナー文化」と呼ばれる独自の文化・伝統が育まれており、現在も工芸が盛んな街として知られています。

形態	カスタム型(本学単独のプログラム ※協定校の学生バディが協力)
人数	募集:10~30名【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホテル泊(2~3名/1室基準) ※ホームステイ体験(2泊)有
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし(但し出発時、目安スコア以上の参加者を想定) 【目安スコア】TOEFL ITP®:450点・TOEIC®L&R/IP:500点 ※ 学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:不要
その他	本プログラムは担当教員が同行し、学習のサポートを行います。 国内にて参加必須の事前・事後講義があります。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:関西空港発 → 【北京乗継】 → チェンマイ着(夜)
-	前日の到着時間が遅い為、翌日曜日はフリータイム
研修期間	プログラム概要 ・事前事後講義も含め、講義・説明はすべて英語で実施 ・GFPとは異なり、個人での調査・研究がメイン (調査の計画・準備・実行・データ整理と分析・報告等) ※ 現地学生バディのサポートあり ・プレゼンテーションスキル向上のためのワークショップ受講 ・現地の生活様式を知る為、一般家庭にホームステイ体験 ・最終日ポスターセッションや帰国後の事後講義にて調査を発表
現地出発	航空便が深夜出発の為、夕刻~夜に空港へ移動、それまではフリータイムになります。 深夜:チェンマイ発 → (機内泊)
帰国	→ 【北京乗継】 → 関西空港着(昼頃)

◆ 主な視察スポット: ワット・チェン・マン ・ワット・プラ・シン ・ナーモー市場
・サンデーマーケット ・ニマンヘミン通り ・チェンマイ旧市街 など

◆ 食文化の特徴: タイ北部は、野菜、山菜など自然の恵みを享受した料理が多く、ハーブやスパイスを効かせた風味豊かで独特な味わいが特徴的です。

◆ Advanced Global Fieldwork Project (AGFP) 「チェンマイ大学」 2/2			
● 引率	カンダボダ・B・パラバート（国際教育推進機構） ※ 本コースは、担当教員が同行して、学習のサポートを行います。		
● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。			
【航空会社】 中国国際航空 (CA) 【乗継地】 北京空港			
※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。			
● 滞在形態 食事条件	ホテル（2～3名／1室基準）／ プログラム中、体験ホームステイ 2 泊 【食事】ホテルの朝食付き、ホームステイ中は食事付、他、懇親会等で一部食事が提供されることがあります。		
● プログラム参加における本学からの支援（特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます）			
支援① 校友会特別奨学金：海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金（返済不要） ※ 本プログラムのみ、海外留学チャレンジ奨学金（本来 5 万円）に代わり、特別に校友会から支給される奨学金です。			
<table><tr><td>校友会特別奨学金支給額</td><td>10 万円</td></tr></table>		校友会特別奨学金支給額	10 万円
校友会特別奨学金支給額	10 万円		
支援② 海外留学プログラム参加支援策（臨時措置）：近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策 ※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。（多少変動する場合があります。）			
<table><tr><td>想定支援額（2 次納付金案内時に詳細を提示します）</td><td>約 1 万 7 千円</td></tr></table>		想定支援額（2 次納付金案内時に詳細を提示します）	約 1 万 7 千円
想定支援額（2 次納付金案内時に詳細を提示します）	約 1 万 7 千円		
● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について			
参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、 上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。			
※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。 ※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。			
参加費用に 含まれるもの （標準項目）	・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費（授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など） ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用（各コースの滞在形態に合わせた費用） ・航空関連費用（航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など） ・その他（協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用）		
※ 本コースのフィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は参加費用に含まれません。 また、個人で計画したフィールドワークにバディが同行する場合、バディの交通費・入場料・飲食費は負担してください。 ※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの（例）」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」 及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。			
● 本コースに関わる特記事項			
・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上可否決定されます。 申込にあたっての語学要件はありませんが、事前事後研修、渡航先での講義・説明などすべて英語で実施しますので、 以下記載の目安語学スコア以上レベルの参加を想定しています。 申込時、レベルに達していない方は、出発までにレベル以上の英語力をつけるように努めてください。 【参加目安スコア】 TOEFL ITP®:450 点 ・TOEIC®L&R/IP :500 点 もし既にお持ちの語学カススコアがあれば、参考までに提出してください。（語学カススコアは任意提出） ・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、対面の事前・事後講義を実施します。 参加必須の為、コース申込の際は、自身のスケジュールを調整して必ず出席してください。 【事前講義】 2025 年 6 月 29 日（日） 午後 <OIC にて実施> 【事後講義】 2025 年 9 月 24 日（水） 午後 <OIC にて実施> ※ 上記予定は変更となる場合があります。時間・教室等の詳細は決定後、manaba+R でお知らせします。			

短期

現地で学ぶ初修語セミナー

国立台湾師範大学

台湾

台北



● 参加費用負担額 目安

34～38 万円

約10万8千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年8月10日(日)～8月30日(土) / 21日間

おすすめPOINT

- 01 実用的な中国語の語彙と発音を学ぶ!
- 02 様々な文化授業や校外授業を選択できる!
- 03 現地学生との交流会に参加できる!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門的プログラムです。外国語学習、外国語による社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする異文化理解に関する講義を受け、中国語や中華文化に対する理解、台湾に対する認識を深めます。
- ・国立台湾師範大学(台北市)の国語教学センターが提供する Summer Course を受講します。
- ・1946年に台北市の文化教育の中心として設立され、中等教育に携わる教師を養成する大学として有名です。現在の台湾において先進的な中国語・中華文化の教育機関で万全の設備があることでも定評があります。
- ・大学の所在する台北市は、台湾の首都であり、賑やかなショッピング街や近代的な建物があり、台湾の経済、政治、文化の中心地です。屋台で食べ物が売られる活気ある風景や、大規模に催される多くの夜市でも知られています。

形態	オープン型(同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり)
人数	募集:10~24名【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホテル(2~3名/1室基準) ※朝食付き
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:不要
その他	「国際関係」「文」「産業社会」「経済」各学部所属で、コース研修言語の履修者は、事前申請により通常授与される単位科目に読み替えて、当該語種の副専攻科目として単位授与とできる場合があります。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:関西空港発 → 【直行便】 → 台北着(午後)
研修期間	【平日】3週間プログラム 09:10-12:10 言語授業(休憩あり) 14:00-16:00 文化授業(休憩あり) 16:00-大学施設を利用した自主学習、郊外授業 【週末・祝日】Free Day 又は 郊外授業
帰国	午後:台北発 → 【直行便】 → 関西空港着(夕刻)

備考

言語授業: 授業は実用的語彙、文型構造と発音練習を重点に授業を行い、さらに聞く、読む、話す能力の強化を図ります。
文化授業: 「カンフー」「中国ヨーヨー」「書道」「茶道」「中国絵画」「組みひも」「切り紙」「台湾語」「中国語発音」などから予定しており、国語教学センターが設定する5~7種類のうちから3種類を選び、参加することができます。
郊外授業: 名映画の舞台となった九份の見学などを通して、台湾文化の理解を深めます。

◆ 現地で学ぶ初修語セミナー「国立台湾師範大学」2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】 エバー航空 (BR)

【乗継地】 直行便

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態
食事条件

ホテル (2~3名 / 1 室基準) Emperor Hotel Taipei 【國王大飯店】 (予定)

【食事】 ホテルの朝食付き

● プログラム参加における本学からの支援 (特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金 (返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額 (参加費用 40 万円以上)

8 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策 (臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 2 万 8 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費 (授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用 (各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用 (航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他 (協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの (例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上合否決定されます。

申込にあたっての語学要件はありません。申込コースの研修言語 (中国語) に関して、もし既にお持ちの語学力スコアがあれば、参考までに提出してください。(語学力スコアは任意提出)

・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、担当教員による参加必須の「現地事情ガイダンス」を実施します。

※ 渡航前ガイダンスと同日に対面で実施予定

【担当教員: 三須 祐介 (文学部)】

・週に 1~3 回、台湾師範大学学生と交流する機会があります。(参加自由)

・クラス分けテストの結果でレベルに合ったクラスで授業を受けます。

・郊外授業は故宮博物院、九份、鶯歌、三峡、十分、淡水などから 3 回選択します。

【プログラム参考資料】

プログラム HP: <http://service.mtc.ntnu.edu.tw/culture/ntnumtc3week/japan/summer0.php>

短期

現地で学ぶ初修語セミナー

モンテレイ工科大学

メキシコ

グアダラハラ



● 参加費用負担額 目安

56～59 万円

約15万9千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年8月17日(日)～9月16日(火)／31日間

おすすめPOINT

- 01 メキシコ文化を通じてスペイン語を学ぶ!
- 02 毎週多彩なフィールドトリップに行ける!
- 03 文化交流イベントで学生間の交流あり!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門的プログラムです。派遣先大学において、外国語学習、外国語による、社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする異文化理解に関する講義を受け、スペイン語やメキシコ文化に対する理解、メキシコに対する認識を深めます。
- ・モンテレイ工科大学はメキシコ国内に31のキャンパスを有する総合大学であり、メキシコの最優良大学の一つです。研修先のグアダラハラキャンパスは、メキシコの第二の都市、ハリスコ州の州都グアダラハラに位置しています。
- ・スペイン語の会話・文法・作文の授業を通じて語学力向上を図り、メキシコ文化の講義やワークショップ、ホームステイでの生活や現地学生との交流、フィールドトリップを通じて、異文化を体験します。
- ・Cultural workshop では Arts & Crafts Workshop と、クッキングを予定しています。

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)
人数	募集:10～16名【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭基準) ※朝・夕 2食付き
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:不要
その他	「国際関係」「文」「産業社会」「経済」各学部所属で、コース研修言語の履修者は、事前申請により通常授与される単位科目に読み替えて、当該語種の副専攻科目として単位授与とできる場合があります。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:成田空港発→【メキシコシティー乗継】→グアダラハラ着(午後) <日付変更線通過の為、現地時間で同日に到着>
研修期間	【平日】4週間プログラム 週に3～4日間はスペイン語の授業とメキシコ文化講義・ワークショップ 週に1日(週により土・水・木曜日いずれか)はFree Day 1週目の週末日曜日は「テキーラ」Day Trip 2・3週目の週末は(金曜PM～日曜)2泊3日のField Trip 最終木曜日:フリータイム・23時頃、夜行バスにてメキシコシティーへ
27-28	メキシコシティー Field Trip (メキシコシティー2泊)
29日目	航空便が深夜出発の為、夕刻～夜に空港へ移動、それまでは、メキシコシティーを見学。(発時間が日をまたぐ為翌日発)
30日目	深夜:メキシコシティー発→【直行便】→<日付変更線通過>(機中泊)
帰国	→ 成田空港着(朝)

備考

※ 本コースは手配航空会社の理由により、成田空港発着となります。

※ 2・3週目週末のField Tripは以下を予定(参加費用に含む)
2週目 グアナファト: スペイン植民地時代の美しいコロニアル建築で有名歴史的な市街地と近辺の銀山はユネスコ世界遺産に登録
3週目 プエルト・バヤルタ: メキシコ太平洋岸の穴場ビーチリゾート

◆ 現地で学ぶ初修語セミナー「モンテレイ 工科大学」2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】 アエロメヒコ航空 (AM)

【乗継地】 メキシコシティ空港

本コースは、「成田空港」発着の設定にて、出発日は成田空港に朝 6:30 頃の集合を予定しています。

集合場所までの交通手段、及び必要に応じた成田空港近辺での前日宿泊は、各自での手配が必要になります。

※ 航空便は団体手配の為、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態
食事条件

ホームステイ(2~3名/1 家庭基準) ※ フィールドトリップ中はホテル滞在

【食事】 ホームステイ中は、朝・夕 2 食付き

※ 本要項巻末「掲載コース共通情報②:ホームステイに関する留意事項」を理解したうえでお申込みください。

● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)

10 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 5 万 9 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手数料など)
- ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ フィールドトリップ(Day Trip 含む)中の食費は参加費用に含まれていません。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないものの例」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上合否決定されます。

・申込にあたっての語学要件はありません。申込コースの研修言語(スペイン語)に関して、もし既にお持ちの語学カスコーがあれば、参考までに提出してください。(語学カスコーは任意提出)

・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、担当教員による参加必須の「現地事情ガイダンス」を実施します。

※ 渡航前ガイダンスと同日に対面で実施予定

【担当教員: 安保 寛尚(法学部)】

・ホームステイ先は、モンテレイ工科大学スタッフや学生など、現地大学に関わりのある方がホストファミリーとなります。

・週末、宿泊を伴う Field Trip の他に、平日に Day Trip として以下の訪問を予定しています。

「Downtown Guadalajara」、「Tlaquepaque」、「Downtown Zapopan」

短期

海外スタディ ペース大学

アメリカ合衆国

ニューヨーク州



● 参加費用負担額 目安

約**5万5千円**＋航空費用＋滞在費用

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

約**11万9千円**の
本学支援金 適用後

※ 航空実費: およそ 35 万～
ホームステイ: \$840～
各費用が別途必要です

派遣期間(日本発着)

2025 年 8 月 10 日(日)～8 月 24 日(日) / 15 日間

※ 上記は、プログラム開始前日現地着、終了翌日に現地出発で想定した派遣期間です。



おすすめPOINT

- 01 国際関係をテーマに英語を学ぶ!
- 02 NY の歴史や文化に触れるツアーあり!
- 03 さまざまな国の参加者と共修できる!

● 都市・大学・プログラムの特徴

・海外スタディプログラムは、学内での学びを海外で実践する場として位置付け、設定テーマに基づき学習するプログラムです。本コースは、「国際関係」「国際連合」をテーマにし、出発前のオンライン学習と担当教員による事前講義、現地プログラム参加、帰国後事後講義という一連の過程により、英語を学びながらテーマについての理解を深めます。

・1906年会計学校として創立、特にビジネスの分野で人気のある名門私立総合大学です。ニューヨーク・マンハッタンにあるキャンパスで、ペース大学 English Language Institute(ELI)が提供する「International Relations」を履修します。午前には国際連合をテーマとした講義やグループディスカッション、午後は英語力の向上に重点を置いたセッションを通じて、国際政治や外交、紛争解決への理解を深めます。模擬国連実施や国際連合訪問、ニューヨークツアーを予定しています。(参加人数により変更となる場合があります。)

形態	オープン型(同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり)
人数	募集: 5～24 名 【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホームステイ ※朝食付
単位	2 単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件: あり(申込には以下記載レベル以上の語学力証明書が必要) ・TOEFL ITP®テスト 433 点(iBT®テスト 55 点)以上 ・TOEIC®L&R テスト 550 点以上 ・IELTS 5.5 以上 ・VELC or CASEC (TOEIC®L&R 目安スコア: 550 点以上相当)
査証	日本国籍: 電子渡航認証 ESTA 取得(事務局を通して代行申請)
その他	・本プログラムは、国内にて参加必須の事前・事後講義が実施されます。 ・ 本プログラムの往復路航空便、また現地空港～滞在先の移動は、参加者各自で手配する必要があります。 ・ ホームステイの手配に関しても、事務局の案内に従って各自で申込、ホストファミリー情報の入手や支払いは参加者により行います。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	※ 各自手配の航空便による <日付変更線通過の為、一般的運行ルートでは現地時間で同日に到着>
研修期間	【渡航前】8時間の Pre-arrival Self-Guided Study とオンラインオリエンテーション 【平日】2 週間プログラム 月～木 09:00-13:00 講義(休憩あり) 金 ウォーキングツアー ※マンハッタン、チャイナタウン、ウォールストリート等(入場料別途) 最終週に簡易的な模擬国連を実施します。
現地出発	※ 各自手配の航空便による <日付変更線通過>
帰国	→ 日本帰国(一般的運行ルートでは発日の翌日に帰国)

備考 キャンパス内の施設(ジム・図書館・PC ルーム)が利用できます。

◆ 海外スタディ「ペース大学」 ニューヨークで学ぶ国際連合 2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について

本コースの往復航空便・現地空港～滞在先移動は、参加者各自で別途手配する必要があります。

※ 2025 年 8 月 10 日(日)に現地(ニューヨーク)到着、2025 年 8 月 23 日(土)に現地(ニューヨーク)出発の航空便

● 滞在形態
食事条件

ホームステイ 【食事】 朝食付(昼食・夕食は申込時オプションで選択できます)

※ 協定校のプログラムで紹介しているホームステイ手配会社に、事務局の案内に従って各自で申込、その後の情報入手や、ホームステイ費用の支払いも各自で行います。

※ 一般的イメージより、家庭の 1 室を間借りする B&B (Bed & Breakfast) に近いと考えてください。

※ ホームステイ先の家庭には、他国や日本人の他の留学生が滞在している可能性があります。

※ 本要項巻末「掲載コース共通情報②:ホームステイに関する留意事項」を理解したうえでお申込みください。

● プログラム参加における本学からの支援金(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

※ 往復航空費用も含めた参加費用を対象として、チャレンジ奨学金を受給する為に、各自で予約した航空便の支払いエビデンス(領収書)を事務局に提出いただく必要があります。

本コースの奨学金支給額(参加費用合計50 万円以上の場合)

10 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額(2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 1 万 9 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定です。参加費用に
含まれるもの

・ 協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須の小旅行など)

・ その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 日本国籍参加者の米国電子渡航認証「ESTA」取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。

※ 現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用は、プログラム参加費用に含まれません。(以下参考)

滞在費用(ホームステイ): ① ブルックリン地区:US\$740(Shared Room)~\$890(Private Room) + US\$100*

② マンハッタン地区:US\$1200(Private Room のみ) + US\$100*

*滞在費用+Application fee US\$100 が別途必要です。

※ 航空関連費用は参加費用に含まれません。原則、プログラム日程に合わせてご自身で手配していただきます。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

※ 他コースと異なり、ペース大学の「チャレンジ奨学金」は、参加者の指定した口座に帰国後、振り込みで支給されます。

● 本コースに関わる特記事項

・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上合否決定されます。

※ 申込にあたっては、記載レベル以上の語学要件が必要になります。(語学力を証明する書類を提出)

TOEFL ITP®テスト 433 点(iBT®テスト 55 点)以上 / TOEIC®L&R テスト 550 点以上

IELTS 5.5 以上 / VELC or CASEC (TOEIC®L&R テスト予測(目安)スコア): 550 点以上相当

本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、対面またはオンラインの事前・事後研修を実施します。参加必須の為、日時が決定したら自身のスケジュールを調整して必ず出席してください。

※ 日程時間・実施形式等詳細は決定後、manaba+R でお知らせします。

【担当教員: 石川 涼子(国際教育推進機構)】

短期

立命館・マコーリー大学

「日豪関係」

オーストラリア

シドニー



● 参加費用負担額 目安

77~98 万円

約10万円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年8月16日(土)~9月21日(日)/37日間



おすすめPOINT

- 01 5週間のプログラムで英語のスキルアップ!
- 02 多彩なトリップでオーストラリアを体感できる!
- 03 現地学生と交流の機会もある!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- マコーリー大学は、1697年に創立され、充実の大学院課程、幅広い分野での先進的な研究、留学生の割合が高いことで有名な州立大学です。
- マコーリー大学 EMI*センターが提供するオープンのプログラムと本学独自のカスタムプログラムを融合した立命館オリジナルのプログラムです。
- 多様な価値観への適応性と国際的視野を養うとともに、カスタムプログラムでは、日豪関係に関する講義を英語で履修し、中長期留学に挑戦するための語学力やアカデミックスキルの向上を目指します。
- シドニーは、ニューサウスウェールズ州の州都で、オーストラリア経済の中心地。国際的な観光都市でもあり、海に臨むオペラハウスなどが著名で、四季もあり一年を通じて比較的温暖な気候で過ごしやすく、世界で最も美しく移住に適した都市の一つとしても有名です。

*EMI=English Medium of Instruction

形態	オープン型とカスタム型のミックス（オープンプログラムの期間は、同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり）
人数	募集：10~30名【書類選考(レポート等)にて参加者を決定します】
滞在	ホームステイ（2~3名/1家庭基準） ※平日朝夕2食、週末3食提供
単位	4単位（秋学期単位授与・受講登録上限外）
要件	語学要件：あり（申込には以下記載レベル以上の語学力証明書が必要） ・TOEFL ITP®テスト430点（iBT®テスト40点）以上 ・TOEIC®L&R/IPテスト450点以上 ・IELTS 4.0以上 ・VELC or CASEC (TOEIC®L&R 目安スコア：450点以上相当)
査証	日本国籍：電子渡航認証 ETA 取得（各自で申請）

● プログラム日程の概要（実際の内容は、変更する可能性があります）

出発	午前：関西空港発 → 【ホーチミン乗継】 → （機中泊）
到着	→ シドニー着（朝）
研修期間	【平日】5週間プログラム （1週目） 8:30-12:45 英語クラス（カスタム） 14:00-16:00 日豪関係クラス （2~5週目） 8:30-12:45 英語クラス（オープン） 14:00-16:00 日豪関係クラス、フィールドトリップ、パティとのイベント、フリータイムなど 【週末・祝日】 Free Day
現地出発	午後：シドニー発 → 【ハノイ乗継】 → （機中泊）
帰国	→ 関西空港着（朝）

備考

- ・日豪関係について興味がある人、今後、中長期の留学を考えている人におすすめ。
- ・オーストラリアの歴史や自然を体感できるアクティビティあり。
- ・現地学生や他国留学生との交流あり。

◆ 立命館・マコーリー大学「日豪関係」2/2			
● 引率	教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。 ※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。		
● 往復路移動の航空便について			
【航空会社】 ベトナム航空(VN) 【乗継地】 往路:ホーチミン / 復路:ハノイ			
※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。			
● 滞在形態 食事条件	ホームステイ(2~3 名/1 家庭基準) 【食事】 ホストファミリーにより平日:朝・夕 2 食付き、週末:朝・昼・夕 3 食付き ※ 本要項巻末「掲載コース共通情報②:ホームステイに関する留意事項」を理解したうえでお申込みください。		
● プログラム参加における本学からの支援金(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)			
海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要) ※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。			
<table border="1"> <tr> <td>本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)</td><td>10 万円</td></tr> </table>		本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)	10 万円
本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)	10 万円		
※ 他のコースで準備されている、「近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策」に関して、本コース現地通貨の「オーストラリアドル」は、支援額算定用基準レートと送金時レートが同等の為、今回は適用されません。			
● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について			
参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、 上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。			
※ 定員上限の参加者数で、かつ燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。			
※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。			
参加費用に 含まれるもの (標準項目)	・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など) ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用) ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など) ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)		
※ 日本国籍参加者のオーストラリア電子渡航認証「ETA」は、代行申請が出来ない為、参加費用に含まれません。 各自でオンライン申請する際に、システム利用料 A\$20 の支払いが必要です。			
※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。			
● 本コースに関わる特記事項			
・指定された様式で申込書類を提出して下さい。担当教員によって選考の上可否決定されます。			
※ 申込にあたっては、記載レベル以上の語学要件が必要になります。(語学力を証明する書類を提出)			
TOEFL ITP®テスト 430 点(iBT®テスト 40 点)以上 / TOEIC®L&R テスト / IP テスト 450 点以上 IELTS 4.0 以上 / VELC or CASEC (TOEIC®L&R テスト予測(目安)スコア): 450 点以上相当			
・本コースは、合格発表後すぐに現地大学への申込手続きを行います。			
申込には「パスポート記載氏名」が必要ですので、事前に確認をお願いいたします。			
【アクティビティ例】			
・Blue mountains day trip(ガイド付き) ・Sydney Harbour Guided Walk (オペラハウスとハーバーブリッジ)			
・Taronga Zoo ・Cultural Exchange Buddy Program(現地学生との交流) ・Student Activity(BBQ)			
【プログラム参考資料】・プログラム紹介パンフレット			
https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/26summer/guideline/Macquarie-brochure.pdf			

◆ 掲載コース共通情報 ①

● プログラム参加費用についての補足事項

1. 参加費用の変動:

プログラム参加費用は、以下の要素により変動します。2 次納付金を案内する際に、最終的に実費算出する為、本募集要項作成時には、想定される変動範囲を基準として、本学支援を差引いた「**参加費用負担額 目安**」を掲載しています。

参加費用の変動要素: ▶ 航空会社設定の燃油サーチャージ(原油価格に合わせて変動、最終費用案内時に確定)
▶ 参加人数により変動する費用 ▶ 協定校との調整により発生する必要な内容修正 ▶ 現地通貨の送金時レート

2. 参加費用の支払い時期: プログラム参加費用は、以下 2 回に分けて支払います。事前に支払計画をしてください。

① 1 次納付金(申込金):合格発表後、数日以内に納入(5 月)		② 2 次納付金:出発の 1~2 か月前に納入(7 月)
▶ GFP・AGFP プログラム	50,000 円	最終算出費用が確定した段階で、参加費用から「納入済み申込金」と「本学からの支援金」を差引いた金額を案内し、1 週間程度以内に納入 ※ ペース大学のみ、奨学金は帰国後に支給されます。
▶ その他 短期留学プログラム	100,000 円	
▶ 1 セメスター留学プログラム	300,000 円	

※ それぞれの支払い時期に、具体的な金額や振込先、費用内訳(2 次納付金時)などを記載した納付案内を発信します。

3. 参加費用に含まれないもの:

プログラムの参加にあたり、参加費用に含まれないもの(例)を以下に示します。資金計画の参考にしてください。

※ 各コース情報のページで、「参加費用に含まれるもの」当該コース特記の「参加費用に含まれないもの」を記載しています。

参加費用に含まれないもの(例)	▶ パスポート取得に関わる費用 ▶ 海外旅行保険代(合格者ガイダンスで詳細を案内) ▶ 自宅と集合・解散場所(国内空港)間の交通費・集合、解散時間に各自対応するための国内宿泊費 ▶ 現地滞在先と協定校間の通学交通費(コースにより、バス定期券などが含まれる場合があります) ▶ 超過手荷物料金(手配された各種運送機関で定めた無料受託範囲を超過した場合にかかる費用) ▶ 留学期間中の「滞在形態・食事条件」に記載されている以外の食事代 ▶ 予防接種等の費用(予防接種が参加条件となっているコースも、参加費用には含まれません) ▶ 個人精算が必要な諸手続費用(外国籍参加者を含め、個人で手続が必要なビザ費用等) ▶ その他、個人にかかる費用:(現地での飲料・間食・日用品・生活雑貨・土産など)
-----------------	---

※ 過去参加者の報告により、準備した資金などの情報が、参考になる場合があります。必要に応じて参照してください。

【参加報告書 One Drive URL】 <https://x.gd/4Dwto>

● 奨学金について

必要に応じて、海外留学を支援する奨学金制度についてホームページ掲載の情報を確認してください。

「立命館大学 海外留学プログラム」で検索 > よくある質問 FAQ >

> 「立命館大学の留学プログラムに参加する際の奨学金はありますか?(学部生)」

<https://global.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja/articles/19288398251283>

1. 学内の奨学金: 海外留学プログラム参加学生を支援する、立命館大学の奨学金制度

(1) 立命館大学 海外留学チャレンジ奨学金: ※ 「参加費用負担額 目安」に反映済み

本募集要項掲載のプログラムに参加の場合、原則、特別な申請はなく自動的に支給され、返還不要の奨学金

(2) 立命館大学 海外留学サポート奨学金: (学籍上「留学」となる、1 セメスター以上の留学のみ対象)

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる方に対する奨学金

2. 学外の奨学金:

(1) 大学を通じて応募する奨学金: 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)

本募集要項掲載のプログラムでは、1 セメスター留学「UC デービス」に参加する日本人学生のみ対象

(2) 個人で応募する奨学金:

大学に案内がきている個人で応募できる、主な公共団体・民間団体による奨学金の情報をホームページで掲載

※ 各奨学金の申請・受給に関しては、「申請資格」「申請時期・方法」「規約」など、各自で確認してください。

※ 「海外留学チャレンジ奨学金」は、(ペース大学を除き)プログラム費用から奨学金を受給したものととして、差し引き額を 2 次納付金で納入するため、万一、体調不良や参加資格取り消しなどで出発直前や出発後の取消等となった場合は、奨学金分の費用支払が追加で発生する場合があります。

◆ 掲載コース共通情報 ②

● ホームステイに関する留意事項

参加形態が「ホームステイ」のコースは、以下の内容を必ず確認・理解し、納得した上で申し込んでください。
また、参加が決定した場合は、渡航前に実施される「ホームステイガイダンス」で更に理解を深めていただきます。

1. ホームステイとは

ホームステイの主旨は、海外一般家庭にその家族と一緒に生活することで、現地の暮らしをじかに体験し、文化や生活習慣の違いを通して「相互理解をもって国際交流を図る」ことにあります。ホームステイは、「リアルな海外生活体験」「生きた会話の学習」「異文化理解」「自分自身や普段の生活を見直す機会」など、多くの有意義な機会を与えてくれます。ただし、明確な目的を持たないまま漠然とプログラムに参加したり、ホームステイに対して、誤った認識や、過度の期待、勝手に作り上げたイメージを持っていたりすると、現実とのギャップに納得がいかず、現地で後悔することになりかねません。

ホストファミリーは、皆さんの自宅と同じ一般家庭で、均一のサービスを提供するホテルではありません。ホストファミリーの生活環境、立地、通学時間、家族構成、ペットの有無、人種、職業、宗教は様々で、ホームステイプログラムの参加にあたっては、それらの条件でホストファミリーを差別・選別する事や、他の参加者の受入先と比較して「同じ費用なのに待遇が違う」といった考え方は、厳に慎まなければなりません。

理想とは違っても、海外一般家庭の一員としての生活は、簡単に体験できるものではありません。
「日本の常識は、海外の非常識」という言葉があります。良くも悪くも、常識は国や地域によって変わるもの。日々新しい発見をして文化の違いを楽しんだり、自身の工夫により困難を乗り越えたりすることが出来れば、視野が広がり、生きる力が養われ、あなたにとってかけがえのない有意義な体験となるでしょう。

2. ホストファミリーについて

ホストファミリーは現地手配により「安全に滞在できる」ことを前提に、「研修言語コミュニケーション」、「規定条件の食事提供」などといった基準で、経験者からの推薦によるリクルートなど、適切と判断された家庭を手配しており、犯罪歴や周囲の評判、過去のホームステイ受入状況、滞在者からのアンケート結果など、事前に入念な確認のうえ選定されていますので、基本的に安心して滞在していただけます。

受入先ホストファミリーは、皆さんが作成する「アプリケーションフォーム」によりマッチングが進められます。人気渡航先では、日本のみならず世界各国から数多くの留学生が訪れるため、ホストファミリーの手配状況は概ねひっ迫しています。合格後、指示のあったホームステイアプリケーションフォームは、必ず提出期限を守り、深刻なアレルギーや、事前に告知しておくべきことは明確に記載して、不備の無いように注意してください。ただし、欧米では犬や猫などのペットを飼っているファミリーの割合が非常に高く、動物や食事について、自身でも対応できるアレルギーや、好き嫌いをもとにしてアプリケーションフォームを記入することで、受入対象を狭めてしまう可能性がある為、注意が必要です。また、電子タバコも含め、屋内で喫煙が許される家庭はほとんどありませんが、事前に「喫煙しない」と申告しながら、敷地内で隠れて喫煙していたりすると、即日ホームステイ先から退去させられることになりかねません。情報は正確に申告してください。

好き嫌いで食べられないものなどある場合は、現地に行ってから直接ホストファミリーに伝えるといいでしょう。

アプリケーションフォームの様式は様々ですが、受け取る側のことを考えて、ポジティブな印象を伝えることをお勧めします。

事前に「立命館生は 1 人のみ」といった条件で手配されるコースもありますが、

人気の地域では、他国、及び日本からの他の留学生と同じホームステイ先になる可能性が高くなります。

一家庭で複数の留学生を受け入れる場合、同性の留学生を原則としていますが、他の留学生と同居する際は、ホストファミリーと同様に、お互い尊重し合う良い関係を築くことが重要です。

3. ホームステイプログラムの検討にあたって

当然のことながら、渡航する国や地域、協定校のプログラムにより、文化や慣習は違い、更に、一般家庭であるホストファミリーによっても、環境や受入状況は様々です。ホームステイプログラムに参加するうえで重要なことは渡航先の文化などを事前に調べて、自身のイメージの幅を広げること、そして、改めてホームステイの主旨に沿って偏見や先入観を捨てて、「与えられた環境の中でいかに楽しむか」、ポジティブに取り組むことが重要です。ホームステイは、受入先の環境がそれぞれ異なる為「何を与えてくれるか」という目線では不平等かもしれませんが、与えられた環境の中で、自分自身の為に「何が得られるか」は、あなたの取り組み方次第です。ポジティブに、主体的に取り組んで、是非この貴重な機会を自身の成長につなげてください。

● ヌモ

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

● 又毛

[illegible]